

である陽光を手中にしての「開放感」を味わいつつ、この夏も、多くの本州ナンバーの車に混じって一寸贅沢なカーライフをエンジョイした。季節はこれから冬に向かうが、冬期でも晴天の日に、足元に暖房を入れ、サンルーフを開け、いわば「頭寒足熱」の環境でのドライビングをこなしている姿も周囲から見て、北国ならではの粋な光景である。そして、今回も出勤する私と、夜勤明けの、自分の息子ほどの年齢の看護職員の運転するスポーティーカーが、勤務先の近くの路上で、お互いにパッシングライトでサインを送り、「御苦勞様、気をつけて」と無言の交換をして、すれ違うシーンがくり返されている。

付) 180 S Xは昭和63年に華々しくデビューしたS13シルビアの兄弟車。リトラクタブル

ヘッドライトとハッチバックが特徴で、シルビアに遅れること1年後の平成元年にデビューした。180 S Xの名前の由来はデビュー当初の両車が1,800ccの排気量(のちに2,000ccになる)であったことから。



## お知らせ

### 北海道医報新年号「新春随想」について(原稿募集)

◇情報広報部◇

北海道医師会では、例年、新年の年男・年女に当たられる会員に「新春随想」をご執筆いただき、1月1日付発行の本誌に掲載いたしております。

つきましては、**猪年生まれ会員**で、ご執筆いただける方は下記の要領をご留意の上、是非ご投稿くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 題 目 「新春随想」  
\* 必ず副題をお付けください。  
\* 写真・カット等がございましたら、併せてお寄せください。
2. 締 切 11月24日(金)
3. 文 字 数 1,600字以内
4. 送 付 先 E-mail: ihou@m.douj.jp (写真・カット添付可)  
F a x : 011 - 252 - 3233